

yorunoyo 2021

夜の横浜で交差する 街と光のアートイルミネーション

ヨルノヨ

期間 12月26日(日)までの毎日17:00~21:05

会場 新港中央広場・横浜大さん橋国際客船ターミナル

費用 お金はかかりません

30分ごとに、光と音楽のハーモニーが楽しめます
(大さん橋ターミナル)

17:30から21:00まで、30分ごとに5分ずつ、新港中央広場とまわりの27の施設から、光と音楽がダイナミックに流れます。今年、新しく赤レンガパークや山下公園の水際線などが加わりました。横浜港大さん橋国際客船ターミナルからは、横浜にしかない、すばらしいパノラマビューが見られます。また、みなとみらい21地区新港中央広場では、広場やドームからの光と音楽が、流れたり、とどまったりして、変化するようすを楽しめます。「ヨルノヨ」で、すてきな横浜の夜を発見してください。

【きくところ】 実行委員会 TEL: 045-323-9952 FAX: 045-323-9956

ヨルノヨ 検索

ヨルノヨの期間いつでも楽しめるイルミネーション (新港中央広場)

現地のレポートはこちらから **Plus+**

横浜市で新型コロナについてきくところ **1日24時間いつでも**

横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター(帰国者・接触者相談センター)
TEL:045-550-5530 FAX:045-846-0500

ワクチン接種についてきくところ
TEL:0120-045-070 FAX:050-3588-7191

9:00~19:00 土・日・祝・休日もOKです ※年末年始(12月29日~1月3日)はお休みです。

しんがた 新型コロナについての情報は2ページを見てください

「広報よこはま」には、イベントのお知らせがあります。どのイベントでも新型コロナウイルス感染症が広がらないように対策をしています。参加するときは、指示をまもって、感染症対策に協力してください。

しみん 市民のみなさんへ

横浜市で2回目のワクチン接種をした人の割合は、11月3日に80%をこえました。医療従事者のみなさん、関係者のみなさん、ほんとうにありがとうございました。

12月には39歳以下の人の接種率も75%をこえるみこみですが、第6波(6回目の感染急増)にむけてしっかり準備をしなくてはなりません。横浜市は、若い人たちを中心に、もっと多くの人に接種することを考えてもらえるように、とりくんでいます。

今は、横浜商工会議所、横浜市商店街総連合会に協力してもらって、まち全体で「ワクチンplusキャンペーン」をしています。10月27日から12月31日までに1回目の接種をした人には、ちゅうせんでいろいろなプレゼントがあたります。すでに2回接種した

人には、市内の協力施設やお店で、割引などがうけられます。今月からは、市内の飲食店からのレシートなどの写真を専用アプリで送ると、ポイントがもらえる「レシ活チャレンジ」もスタートします。

横浜市は、第5波をふりかえって、感染症対策をさらに強くしています。第6波にそなえて、ベッド数をもっとふやし、コロナ専門病院をつくって、しっかり医療を行えるようにします。現場の医療関係者などから意見をきくために、アドバイザーボードという委員会をひらいています。また、3回目のワクチン接種がうまく進むように、市としてしっかり準備をしています。これから、みなさんに接種券を順番に送っていきます。

年末になると、忘年会や友だちとの食事、親戚が集まるなどの機会がふえます。今までどおりに感染症対策をして、よい新年をむかえてください。



よこはまし ちやう
横浜市長
やまなか たけはる
山中竹春

しながた 新型コロナウイルス感染症について

11月15日時点の情報にもとづくお知らせです。
[横浜市 新型コロナ 検索](#)

ポイントをおさえた感染対策で、 ねんまつねんし 楽しい年末年始をすごしましょう

食べたり飲んだりするときは

- ポイント!** 少ない人数、短い時間で
- ポイント!** なるべく、いつもいっしょにいる人と
- ポイント!** お酒を飲みすぎたり、場所を変えてあちこちで飲んだりしない

また、次のことにも気をつけましょう。

- お箸やコップは自分だけのものを使い、同じものをみんなで使わない
- 席は、ななめ向かいに(なるべく正面や真横にはすわらない)
- 食べる時だけマスクをはずし、話すときはマスクをする
- 空気の入替え、すわる間隔、アクリル板など、きちんとしたお店で
- 体のぐあいが悪いときは参加しない

ねんまつねんし 年末年始には、イベントや飲食などの機会がふえます。感染者数が急にふえることがないように、あらためて基本的な感染防止策をていつ的に行ってください。

食べたり飲んだりするときも、
 そうでないときも、

これからもいつでもまもってほしいこと

- 基本として、マスクをする、三密にならないようにする、部屋の空気をよく入れかえる。
- 集まるときは、少ない人数、短い時間で。
- 大声を出さず、静かに話をする。
- みんなで使う施設のそうじ・消毒、手洗い・アルコール消毒をしっかりとる。

		TEL: 0120-045-112(9:00~19:00 土・日・祝日・休日)
		▶12月29日(水)から1月3日(月)まではお休みです
		9:00~23:59(土・日・祝日・休日)
		▶年末年始も受付をしています

[横浜市 ワクチン 予約 検索](#)

しながた 新型コロナウイルスワクチン3回目接種について

横浜市では、3回目接種をうけたい市民が接種をうけられるように、準備をしています。
 まず、2回目の接種から12月でおおよそ8か月になる人たち(おもに医療従事者)に、「3回目の接種券」などが入った「個別通知」を11月22日に送りました。

これからの接種スケジュール
 2回目の接種からおおよそ8か月たったときに、3回目ができるように、順番に「3回目の接種券」を送ります。
 接種券がとどいた人から3回目の予約ができるようになります。
 接種券がとどくまで、しばらく待ってください。
 高齢者のための接種や予約の方法、接種の場所などについては、またべつにお知らせします。

※国が決めることによって、内容が変わることがあります。

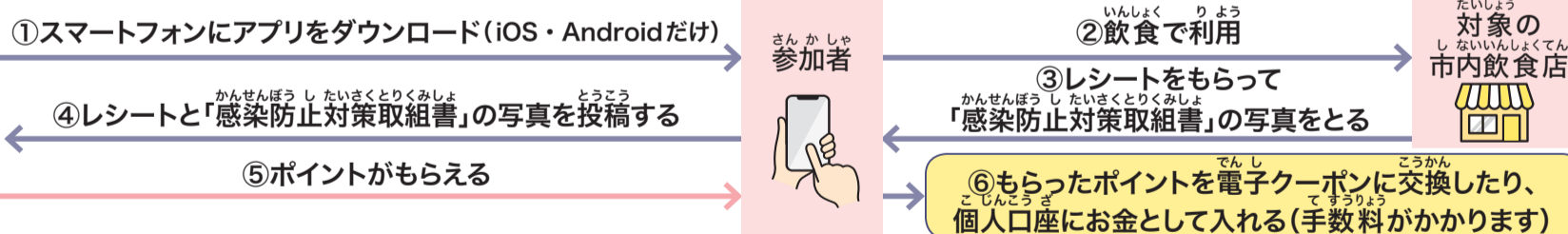
3回目の接種券を送る時期 予定
2回目接種の時期
 2021年6月のはじめ

3回目の接種券を送る時期
 2022年2月中ごろから

しながた レシ活チャレンジ (レシートを使った市内飲食店利用促進事業) [きくとこ] 経済局 商業振興課 TEL: 045-671-3488 FAX: 045-664-9533

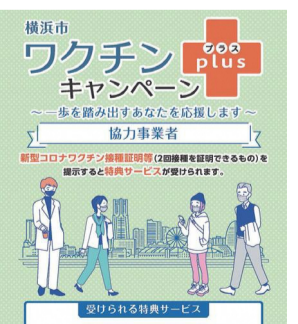
市内の飲食店でしはらった額の5%がポイントでもどってくる!
 対象のお店に行ったときのレシートなどの写真をスマートフォンのアプリに投稿すると、しはらったお金の5% (ひとりの合計額1万円まで)がポイントでもどってきます。ポイントは、電子クーポンなどに交換することができます。ポイントは、電子クーポンへの交換等に利用できます。

【参加の方法】



ワクチンplusキャンペーン ~一歩をふみ出すあなたを応援します~ [きくとこ] 経済局 商業振興課 TEL: 045-671-3488 FAX: 045-664-9533

若い人たちを中心に、もっと多くの人に接種することを考えてほしいので、これからワクチン接種をする人と、もう2回接種した人に、キャンペーンをしています。



これからワクチン接種をする方へ ワクチンplusプレゼント

協力する企業の景品があたります。
【対象】10月27日~12月31日のあいだに、市内に住んでいるワクチン1回目を接種した人
 ※応募方法など詳しいことはウェブページで見てください。

すでにワクチンを2回接種された方へ ワクチンplusサービス

市内の協力事業者で特別なプレゼントやサービスがうけられます。
【対象】ワクチンを2回接種した人 **【期間】**2022年3月31日(木)まで(予定)
【参加の方法】ワクチン接種証明書など(2回接種したことがわかるもの)を市内の協力事業者に見せてください。
 ※事業者のリストなど、詳しいことはウェブページで見てください。



ワクチンplusキャンペーン [検索](#)

お互いに尊重しあい、ともに生きる社会をめざして

さいゆうしゅうしょう
最優秀賞
「横浜市長賞」

ぼくの夢見る未来

ゆめみ みらい
横浜市立保土ヶ谷中学校3年 太田 圭胡さん

じんけんさくぶん
第40回全国中学生人権作文コンテスト横浜市
大会に、55,079作品の応募がありました。
その中から、最優秀賞「横浜市長賞」を受賞した
作品を紹介します。

中学1年の時に、水泳部の部活中の事故で大怪我をしました。そして突然障害者になりました。脊髄損傷という大怪我で手術をし、リハビリをし、北海道で再生医療を受けました。でもぼくの右手と右足は今までの様に動きません。それでも周りの人の支えのおかげで、また水泳をできるまでに回復しました。手術してくれた病院の先生や看護師さん、北海道の先生、リハビリの先生に助けられました。今まで障害について、考えた事もなければ、自分が障害者になるなんて少しも考えた事ありませんでした。障害をもってからリハビリの時も診察の時も、ぼくより重い障害がある人に何人も出会いました。みんな挫けず、辛いリハビリや治療をがんばっていました。前とは違う体になってしまった自分を認める事ができないでいるぼくにとって、とっても励みになりました。「前の自分だったら」とか「手や足が動けば」とかマイナスに考える事しかできなかった自分はずかしく思いました。中学の友達とは違う体かもしれない、できなくなった事や苦手になってしまった事もマイナスに考える事もなく前に進んでいこうと思い始めました。同じパラ水泳のチームの人達の中には、知的障害の人や下半身が麻痺している人、色々な障害がある人達が前向きに負けずにがんばっています。その姿に影響を受けて、また水泳を一からがんばろうと思いました。そして、練習を重ねていくうちに横浜市の水泳大会にチームのメンバーとして出場することになりました。今までの大会よりも緊張して、何も考えられませんでした。それでも、今までに助けてくれた人のためにがんばろうと思って泳ぎました。自由形の50メートルに出場して、ぼくはただがむしゃらに泳ぎました。泳ぎ終わった後、全力を出し切ってからっぽのぼくの耳に、「4コースを泳いだ太田圭胡さん

が今大会の新記録を樹立しました」というアナウンスと、大きな拍手が聞こえてきました。新記録を出したという驚きと嬉しさを感じました。そして、金メダルと賞状をもらいました。今までの自分自身の努力がむくわれた感じがして、すごく達成感がありました。金メダルが取れたことを入院中に心配してくれた親や友達に伝えたところ、すごく喜んでくれました。

ぼくが伝えたいことは、性別や、障害があるかないか、そういうことは関係なしに、みんながみんな、必ず来る明日のためにがんばって、努力しているということです。人それぞれ違いは必ずあると思いますが、そのかすかな違いを面白おかしくバカにしたり差別したりするのではなく、助け合ってみんな生きていく、そういう社会になってほしいと思っています。どんなに辛くても、どんなに苦しくてもぼくは入院中友達や家族に心配されたことを何年たっても忘れません。みんなが忘れていてもぼくは覚えています。希望を抱いて生きていこうと思います。

ぼくの夢見る未来は、差別がなくどんな人も笑って過ごせる未来です。障害や性別関係なくみんなが笑顔でいられる社会です。辛い事があっても助け合って乗り越えていけるように、必ず、ぼくがみんなを笑顔にします。それがぼくが夢見る未来です。これから先も差別を受けたり、みんなと違うことをしていくと思いますが、挫けずにがんばっていきたいです。自分より重い障害がある人をたくさん見てきました。自分が今何をすべきか、何のために生きているのかを考え、今まで応援してくれた人のためにいつか、何年先であってもパラリンピックに出て北海道の方々、同級生のみんな、先生方や家族に必ず恩返しをします。それがぼくにできるただ一つの事だと思っています。

じんけん とくしゅう 人権特集 12月4日～10日は人権週間です

おたがいに尊重して、いっしょに生きる社会をめざして

じんけん 人権を考えるポスターが完成しました

横浜では2010年度から毎年、人権を考えるポスターをつくっています。デザインは、横浜市内の専門学校生から募集します。『大切にしよう 人を思う心』という標語には、みんなが自分らしく生きるために、おたがいを尊重する思いやりの気持ちが大切だという思いがこめられています。ポスターをとおして「ひとそれぞれの違いをみとめて、すべての人がおたがいの人権を大切にすれば、心のゆたかな社会につながる」ということをつたえていきます。

今までの人権を考えるポスターをウェブページで見ることができます。ぜひアクセスしてください。



2021年度ポスターデザイン
横浜デジタルアーツ専門学校
くすもまなみ 楠本愛美さん

横浜市 人権啓発ポスター 検索

【きくところ】市民局人権課 TEL: 045-671-2379 FAX: 045-681-5453

しよくぎょう さべつ 職業差別をなくすために、ひとりひとりにできること

どんな仕事も社会にとって必要です。どの仕事も同じように価値があります。それなのに思いこみで、職業に上下があると考えたり、なにかの職業の人にマイナスの感情を持ったり、職業によって人がらまで判断したりしていませんか。もしかすると、かたよった価値観があるのかもしれない。

ある仕事について悪い感情を持っていたり、ほんとうはどんな仕事なのか、どんなに大切な仕事なのかを知らなかったりすると、何気なく言った言葉で、その仕事をしている人はもちろん、家族などまわりの人まできずつけてしまうかもしれません。自分の考えかたで人をきずつけるかもしれないと気づいたら、どうして自分はそう考えるのか、そういう考えや価値観はほんとうに必要なのか、よく考えてみてください。

そもそも職業には関係なく、すべての人には同じ価値があって、自分らしくいあわせに生きる権利があります。おたがいの人権を大切にしたい社会にするために、ひとりひとりが、自分が持っている価値観について、よく考えてみましょう。

【きくところ】市民局人権課 TEL: 045-671-2379 FAX: 045-681-5453

がいこくじん たぶん かきょうせい 外国人との多文化共生にむけて

横浜にはおよそ10万人の外国人が住んでいて、政令指定都市の中で2番目の多さです。身近な地域、学校、職場などで、外国人や、外国にルーツがある人と出会う機会もふえてきているのではないのでしょうか。

横浜では、日本人にとっても外国人にとってもくらしやすいまちづくりをしようとしています。言葉や文化が違って、みんな同じ地域で生活している、同じ住民です。

もし、自分が外国でくらすようになったら、どんな気持ちで生活し、どのようにしてもらったらうれしいか、考えてみませんか。

「言葉が通じないかもしれない」「なんとなく声をかけづらい」と見えない壁をつくらないで、少しずつでも話しかけてみましょう。だれもがくらしやすい、多文化共生社会(いろいろな文化を持つ人たちがいっしょに住む社会)にむけて、おたがいに理解をふかめていきましょう。

【きくところ】国際局政策総務課 TEL: 045-671-3826 FAX: 045-664-7145

じさつ じし いそく 自殺・自死遺族について

身近な人や大切な人が自殺してしまったとき、残された人たちは、「殺」という文字にきずつくことがあります。そのため遺族は「自殺」ではなく「自死」という言葉を使います。そのような人たちの気持ちを考えて、自殺で身近な人をなくした人たちの「自死遺族」とよびます。

多くの自殺は、その人が思ったり選んだりしたためではなく、「心理的に追いこまれたための死」といわれます。しかし、社会には、「弱いから逃げた」「命を粗末にした」という誤解や偏見が根強いので、遺族が「自死でなくなりました」とはとても言いにくくなります。

遺族の中には、自分をせめたり、まわりからの偏見があったりして、自分の思いを長いあいだかくしている人もいます。自殺対策のための知識や遺族の思いをよく理解して、死のあり方によって差別されることのない社会、だれも自殺に追いこめられない社会をつくっていきましょう。

[参考文献]「自死・自殺の表現に関するガイドライン(NPO法人全国自死遺族総合支援センター) 横浜市自殺対策サイト 検索

【きくところ】健康福祉局こころの健康相談センター TEL: 045-662-3558 FAX: 045-662-3525

しんたいしょうがいしゃ ほ じょけん 身体障害者補助犬と いっしょにくらす社会

身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)は、目や手足、耳が不自由な人の生活をサポートするパートナーです。補助犬は、訓練のあと認定をうけて、交通機関、飲食店、公共施設、宿泊施設、病院などへいっしょに入ることができます。

しかし、補助犬にはできないこともあります。盲導犬は自動的に目的地まで行ってはくれません。車いすで店の品物に手がとどかないときに介助犬がかわりにとることはできません。駅で緊急のアナウンスがあったときに聴導犬が内容をつたえることはできません。補助犬を連れてくる人がこまっているとき、危険がせまっているときなどは、まわりの人が声をかけて、サポートすることが必要です。

コロナがはやっている今、町で人に近づいたり話しかけたりするには勇気がいります。でも多くの人々が不安をかかえるこの時代だからこそ、人によりやさしさと強さを持って、ともにくらす社会をつくっていきましょう。



【きくところ】健康福祉局 障害自立支援課 TEL: 045-671-3891 FAX: 045-671-3566

かんせんしょう ちしき りかい 感染症の正しい知識と理解

だれでも感染症にかかることがあります。それなのに、まちがった情報や思いこみで偏見を持つことから、差別がおきることがあります。たとえば、エイズやハンセン病は感染力が弱くて、心だんの接触ではうつらないのに、まちがった考えが広がって偏見が大きくなりました。私たちひとりひとりが感染症の正しい知識を持って理解をふかめ、偏見や差別をなくしていきましょう。

HIV エイズ HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染すると、免疫力が下がります。健康ならばふせぐことができる感染症や悪性腫瘍をおこすことをエイズといいます。薬によってHIVをコントロールすれば、感染する前と同じ生活ができます。

ハンセン病 らい菌によって皮膚や神経に症状がでる感染症です。早いうちに治療すれば治ります。



【きくところ】健康福祉局 健康安全課 TEL: 045-671-2729 FAX: 045-664-7296

INFORMATION
ねんまつねん し
年末年始の
じょうほう
情報

市・区役所、行政サービスコーナー、
マイナンバーカード特設センターが
お休みになる期間

12月に区役所が開く土曜日

12月29日(水よう)～1月3日(月よう)



市役所1・2階のお店の営業については、それぞれの施設の
ウェブページを見てください。

12月11日(土よう)、25日(土よう) 9:00～12:00

戸籍課、保険年金課、こども家庭支援課の一部業務(児童手当
のもうしこみと受付、母子健康手帳の交付)の窓口が開きます。

ねんまつねん し しげんぶつ
年末年始にごみと資源物を集める日

12月31日(金よう)から1月3日(月よう)まで、ごみの収集はお休みです。また、燃やすご
みを集める日が月よう・金ようのところは、12月29日(水よう)と1月5日(水よう)にりんじに
集めます。

集める日(燃やすごみ) ルールを守って 出してください。	燃やすごみ 燃えないごみ・スプレー缶・乾電池		プラスチック製 容器包装	缶・びん・ ペットボトル 小さな金属類
	月・金よう ごみを集めるところ	火・土よう ごみを集めるところ		
12月	27日(月よう)	いつものとおり	いつものよう日どおり集めます 分別されていないものは集められません。	
	28日(火よう)	いつものとおり		
	29日(水よう)	りんじに集めます		
	30日(木よう)			
	31日(金よう)			
1月	お休みです ごみと資源物をぜったいに出さないでください。		いつものよう日どおり集めます 分別されていないものは集められません。	
	1日(土よう)			
	2日(日よう)			
	3日(月よう)			
	4日(火よう)	いつものとおり		
	5日(水よう)	りんじに集めます		
	6日(木よう)			
	7日(金よう)	いつものとおり		
8日(土よう)	いつものとおり			

※古紙・古布(=古い紙や古いぬのじ)などの資源集団回収については、住んでいる地域によってちがいます。集
める場所のお知らせを見てください。または集める業者にきいてください。
※年末年始もごみは朝8:00までに出してください。収集した後は、ぜったいにごみを出さないでください。

【きくところ】住んでいる区の資源循環局 収集事務所または資源循環局業務課 TEL:045-671-3815 FAX:045-662-1225

そだい
粗大ごみ もうしこみが**必要**です

横浜市 粗大ごみ **検索**

12月はもうしこみがとても多いので、取りにく
るのが1月になることがあります。

そだい
粗大ごみ受付センター粗大ごみ受付センター

インターネット・チャット・LINEでのもうしこみ

12月30日(木よう)12:00～1月3日(月よう)にもう
しこむと、取りにくる日のお知らせなどの連絡は、
1月4日(火よう)より後になります。また、チャット
は12月31日(金よう)から1月3日(月よう)までお休み
します。

電話でのもうしこみ

月～土よう(祝日・休日も受付)8:30～17:00

12月31日(金よう)から1月3日(月よう)はお休みです。

一般加入電話などを使っている人は

TEL:0570-200-530

携帯電話やIP電話などの定額制や無料通話など
の通話料割引サービスを使っている人は

TEL:045-330-3953

びょうき
きゅうに病気になったとき、けがをしたとき

電話からは **いつでも1日24時間**れんらくできます

TEL: #7119 (携帯電話、PHS、プッシュ回線)

またはTEL: 045-232-7119 (どんな電話からでも)へ

どこの病院に行けるか知りたい **医療機関案内(①番をえらぶ)**

今すぐに病院に行くほうがいいか、
救急車をよんだほうがいいか知りたい **救急電話相談(②番をえらぶ)**

耳が不自由な人のための案内 **医療機関案内 FAX: 045-242-3808**

パソコン・スマートフォンからは

救急受診ガイド

今すぐ病院に行くのが必要かどうかわかります。消防署で
パンフレットがもらえます。 **横浜市 救急受診ガイド 検索**



やかんきゅうびょう
夜間急病センター 時間: 毎日20:00～24:00

桜木町 (中区桜木町1-1)	内 小 眼 耳	TEL:045-212-3535
北部 (都筑区牛久保西1-23-4)	内 小	TEL:045-911-0088
南西部 (泉区和泉中央北5-1-5)	内 小	TEL:045-806-0921

診療科目 内 内科 小 小児科(子ども) 眼 眼科 耳 耳鼻咽喉科

※休みの日の昼間に病気になったら、住んでいる区の休日急患診療所にれんらく
してください。区の広報に出ています。

休みの日や夜に歯がいたくなったら **歯科保健医療センター(中区相生町6-107)**

TEL: 045-201-7737

【日よう・祝日・12月29日～1月4日】

10:00～16:00(15:30まで受付)

【夜】毎日19:00～23:00(22:30まで受付)

【きくところ】
急な病気やけがの記事について

医療局 救急・災害医療担当

TEL: 045-671-3932 FAX: 045-664-3851

休みの日や夜に歯がいたくなるときの記事について

医療局 がん・疾病対策課

TEL: 045-671-2721 FAX: 045-664-3851